



講評： 地元に住みたいという夫妻が、築20年になる中古住宅を購入して、親子4人のための明るい住宅として再生させたもの。巾2間奥行き8間の文字通り鰻の寝床を、若い家族の現代生活に耐える住まいとして実現した。設計者は施主の友人であったので、中古住宅の購入の時点からアドバイスをし、施主の要求に十分応えて、住みやすくローコストなリフォーム、サステナブルなリフォームを実現した。比較的に安価な中古住宅をさがして、これにローコストなリフォームをすることで、若い夫婦にも入手可能な住宅を獲得する戦略である。

日当たりが悪く、暗い家であったので、主題は日当たり・採光と構造上の安全と、家族のコミュニケーションであった。そのためには、リビングとDKを大きな一室とし、吹き抜けを設け、どこにいても子供の気配を感じられる明るい家とすること、2階に大きな開口部を設けることが重要であった。

改修に当たっては、古い建物の主要構造部の柱はほとんどそのまま残して、1階DKの上を吹き抜けとし、2階に採光のためのテラスを設け、その開口部に向かってまっすぐに階段をのぼるというコンセプトが成功している。吹き抜けの冬場対策としては、局所的に床暖房を設けている。開口部の位置もほとんど変わっていない。断熱と結露対策も行われている。

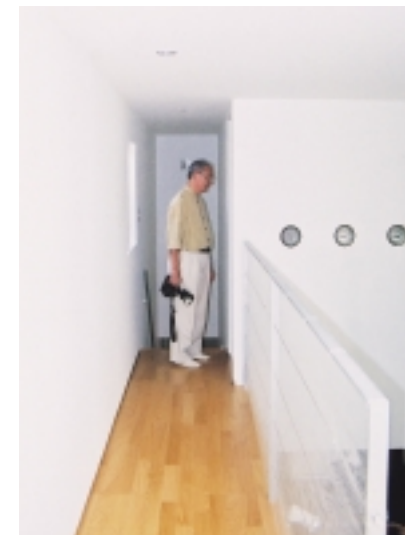
構造のチェックに当たっては、内部の解体時に床・壁・小屋組を調べ、躯体がしっかりしていることを確認している。建設時は注文住宅であったのが幸いしたようである。計画時にも、減築で構造補強することとあわせて、確認申請の不要なことを役所に問いあわせて確認している。壁量チェックも行っている。

玄関のツインカーボの乳白色の大きな引戸、リビングとDKのツインカーボ障子のディテール、寝室上部ロフトの収納、2階ブリッジのシ

ンプルでしっかりした手摺、子供室の丸いガラスブロック、壁の入り巾木の納まりなど、いずれも設計者の新しい工夫とこだわりをもったディテールである。

ローコスト化の努力は相当なもので、資材購入や施工など、設計者と施工者の協力と努力がなければ、この費用では実現しなかったであろう。また、施主の理解も大きく寄与している。合理性とシンプルな仕上げ、明快な色彩計画、よく考えられた収納計画など見るべきものが多い。

設計者の確かな技量と計画力、施工者の協力、施主の理解が、このリフォームを実現させた。



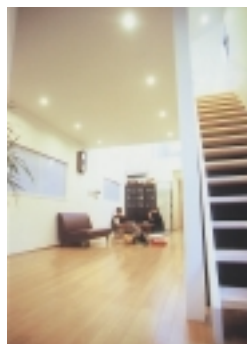
リフォーム前後の写真



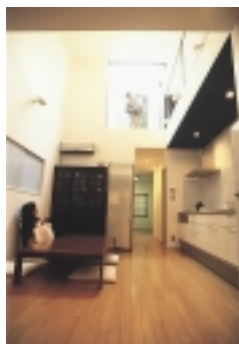
リフォーム前 (A)



④



③



⑤



②



①

リフォームの動機 / 設計・施工の工夫点 / 施主の感想 など

- ・築20年になる中古住宅を購入。間口2間、奥行き8間の細長い日本家屋であり、南側は隣家が迫っているため昼でも部屋は暗くひく圧迫感のある状況であった。
- ・若い夫婦と、小さな子供がコミュニケーションをとりやすく日当たりを良くするという全体像と物干し・小型車の駐車スペースを取りたいという具体的な要望に答えてのリフォームである。

《theme》

- ・上記の要望と奥行き8間あるという建物のポテンシャルを生かすため、建物の中央部に6畳の吹抜けをとり、それに繋げて2Fにテラスを設ける事で光を1Fに導き、1F・2Fへの流れを作りその流れ(コミュニケーション)に沿って空間を構成することが今回のテーマとなった。

特に配慮した住宅性能など：耐震補強 省エネルギー バリアフリー 住む人の健康 その他 ()

データ		構造 / 築後年数		在来木 造 / 20 年	
所在地	大阪府八尾市	構造 / 築後年数		在来木 造 /	20 年
該当工事面積	98.77 m ²	該当部分工事費	780 万円		
居住者構成	4 人 (大人 15歳以上 2 人 子供 2 人) ペット				
設計者	大藪義章建築計画所 一級建築士事務所	担当者	大藪 義章		
施工者	ダイミツ建設 (株)	担当者	福浦 良二		

